

第6学年国語科学習指導案

指導者 戸島 沙織

1 単元名 意見を述べた文章や解説の文章などを読んで、自分のものの見方を広げよう

2 言語活動とその特徴

本単元では、言語活動として「読み取ったことや感じ取ったことを表現し『絵巻物鑑賞ブック』を作る」ことを位置付けた。「絵巻物鑑賞ブック」とは、絵を鑑賞した児童が、読み取ったことや感じ取ったことを文章で表現し、まとめたものである。自分の考えを表現するために、筆者の視点や表現に注目してものの見方を広げながら教材文を読んでいく。したがって、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること」(C読むことウ)を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

3 単元について

(1) 児童観

児童は、前単元において、筆者の意図を考えながら読み、筆者の考えについて自分はどう考えるかをまとめるという活動を行っており、文章の要旨や筆者の主張を捉えて自分の考えの形成に生かして読む力は付いてきている。しかし、事実や意見、感想などの捉え方が曖昧で、筆者が意見を述べる際の表現の仕方に注目して読むまでには至っていない。

(2) 教材観

教材文「『鳥獣戯画』を読む」は、アニメーション映画のプロがアニメーションのルーツともいえる絵巻物に対して自分の考えを述べた説明的文章である。絵と文章を照らし合わせて読んで筆者のものの見方を知ったり、筆者の表現から意見の伝え方を学んだりできる教材である。

(3) 指導観

本単元では、絵を読み解いていく筆者のものの見方を学び、自分のものの見方を広げていくことを目指す。そこで、第1次として、筆者が読んだ絵と同じ絵について児童自身が鑑賞することにより、児童が自分の考えをもつ際の視点や表現に対する課題をもつようとする。第2次では、「『鳥獣戯画』を読む」を、絵と文章を照らし合わせて読んだり、文末表現に注目して読んだりすることで事実や感想、意見などを読み取り、ワークシートに整理することで、それらの関係を押さえて自分の考えを明確にできるようにする。最後に第3次として、第2次で学んだ筆者のものの見方や事実や感想、意見についての表現の仕方を生かし、「絵巻物鑑賞ブック」を作る。更に、それらを読み合い、感想を伝え合う。友達の見方や表現の仕方に注目して読むことで、ものの見方や表現方法を広げていくことができると考える。

4 単元の目標

- 絵巻物に関心をもち、自分の考えを明確にしながら主体的に読もうとする。
(関心・意欲・態度)
- 意見とそれを支える事実とが読み手に明瞭に区別できるように、接続語の使い方や文末表現に注意して書くことができる。
(書くこと)
- 意見を述べた文章や解説の文章などに対する自分の考えをもつために、必要な内容を押さえて要旨を捉えたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえたりして読むことができる。
(読むこと)
- 文末表現や助詞の使い方など語句に注目して読み、語句と語句の関係を理解することができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

5 単元の評価規準

| 国語への関心・意欲 ・態度 | 書く能力 | 読む能力 | 言語についての知識 ・理解・技能 |
|-------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| ・絵巻物に関心をもち、自分の考えを | ・意見とそれを支える事実とが読み手 | ・意見を述べた文章や解説の文章などに対 | ・文末表現や助詞の使い方など語句に |

| | | | |
|---------------------|--------------------------------------|---|-------------------------|
| 明確にながら主体的に読もうとしている。 | に明瞭に区別できるように、接続語の使い方や文末表現に注意して書いている。 | する自分の考えをもつたために、必要な内容を押さえて要旨を捉えたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえたりして読んでいる。 | 注意して読み、語句と語句の関係を理解している。 |
|---------------------|--------------------------------------|---|-------------------------|

6 単元の指導計画（9時間扱い）

| 次 | 時 | 主な学習活動 | 主な評価 |
|-------------|---|--|--|
| 1 | 1 | ○ 絵を見て感じたことをまとめ、筆者のものの見方や感じ方の違いに気付く。 | ・自分の感じ方と筆者の感じ方を比べることに興味をもって文章を読もうとしている。 (関心・意欲・態度) |
| | 2 | ○ 「『鳥獣戯画』を読む」を読んで学習したことを生かし、「絵巻物鑑賞ブックを作ろう」という目標をもって学習計画を立てる。紹介したい絵巻物を選ぶ。 | ・選んだ絵巻物について自分の考えを表現するために必要な学習を理解して、学習計画を立てようとしている。 (関心・意欲・態度) |
| 2 | 3 | ○ 文章と絵を照らし合わせながら読み、筆者のものの見方や感じ方について考え、筆者の考えに対する自分の考えをもつ。 | ・筆者が何に着目し、絵巻物をどう評価しているか、絵と文章を照らし合わせながら絵に描かれていることや意見、感想などを区別して読み、自分の考えをもっている。 (読む能力) |
| | 4 | ○ 筆者の文末表現や構成の工夫点を整理する。 | ・筆者の表現や構成の工夫について、その効果や筆者の意図を考えている。 (読む能力) |
| 6 本 時 | 5 | ○ 筆者の文末表現や構成の工夫点を整理する。 | ・文末表現や助詞の使い方など語句に注意して読み、語句と語句との関係を理解している。 (言語についての知識・理解・技能) |
| | 6 | ○ 筆者のものの見方や感じ方について読んだことを生かして、自分で選んだ絵巻物から読み取ったことや感じたことを表現する。 | ・教材文から学んだ表現や文章構成を生かして、絵に描かれていることや意見、感想などを表現している。(読む能力) |
| 3 | 7 | ○ 学習を通して、新しく知ったことや自分のものの見方が広がったと思うことについて話し合う。 | ・教材文を詳しく読んで、新しく知ったことや自分のものの見方が広がったと思うことについて、自分の考えをまとめて話し合っている。 (読む能力) |
| | 8 | ○ 自分の考えが読み手に伝わるように、表現や文章構成を工夫して選んだ絵巻物についての自分の考えを書く。 | ・絵に描かれていることや意見、感想などを区別して、表現の効果を考えながら文章を書いている。 (書く能力) |
| | 9 | ○ 書いた文章を読み合って絵の見方や表現のよさを伝え合う。 | ・友達の考え方と自分の考え方を比べて共通点や相違点を見つけ、ものの見方や表現方法を広げている。(読む能力) |

7 本時の学習

(1) 目標

- 筆者の表現や文章構成を参考にして、絵に描かれていることや意見、感想などを表現することができる。

(2) 準備・資料

- ・前時で活用したワークシート ・前時までの学習をまとめた掲示物
- ・拡大した絵（「鳥獣戯画」「信貴山縁起絵巻」「伴大納言絵巻」） ・ワークシート

(3) 展開

| 学習活動・内容 | 指導上の留意点・評価 |
|--|--|
| <p>1 本時の学習課題と学習の進め方を確認する。</p> <p>筆者になりきって、自分が選んだ絵巻物から読み取ったことや感じ取ったことを表現しよう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ものの見方を広げるために、筆者になりきることで自分の表現を豊かにすることを意識させる。 |
| <p>2 筆者の表現や文章構成を参考にして、自分が選んだ絵巻物から読み取ったことや感じ取ったことを表現しよう。</p> <p>(1) 各自分で、絵巻から読み取ったことや感じ取ったことをワークシートにまとめる。</p> <p>・「鳥獣戯画」甲巻 ・「信貴山縁起絵巻」飛倉の巻 ・「伴大納言絵巻」上巻</p> | <ul style="list-style-type: none"> 児童が意欲的に活動に取り組めるように、3種類の絵巻物の絵の一部が入ったワークシートを活用する。 自分の考えや感想を表現することが苦手な児童が筆者の表現をまねしやすいように、「鳥獣戯画」の別の場面も用意する。 表現の手助けとなるように、筆者の表現や文章構成について整理した掲示物を示す。 |
| <p>(2) 選んだ絵巻物ごとに、グループで読み取ったことを話し合う。</p> <p>〈話合いのポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵のどの部分に着目した。 どのようなことを感じたか。 絵に描かれてことが適切に表現できているか。 絵に描かれていることや意見、感想などが区別できているか。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分と他者の読み取りを比較しやすいようにする選んだ絵巻物ごとのグループで話し合わせる。 他者の意見を集中して聞き、話合いが深まるように、話合いのポイントを示す。 自分の考えを分かりやすく伝えられない児童には、注目したところが分かるように絵を指し示させたり、話す順序を助言したりする。 <p>◎ 筆者の表現や文章構成を参考にして、絵に描かれていることや意見、感想などを表現している。(読)(ワークシート・発言)</p> |
| <p>(3) それぞれのグループで話し合ったことを全体で交流する。</p> <p>〈交流するときのポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆者の表現や文章構成が生かされているところはどこか。 自分との共通点や相違点はどこか。 他に注目できるところはないか。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分のグループの発表を聞くことで、更にものの見方が広がるようにする。 友達と自分の表現を比べられるように自分だったらどこに注目するか、考えながら発表を聞くように助言する。 |
| <p>3 話合いを通して気付いた他の絵巻物の読み取りや表現を参考に、各自ワークシートを完成させる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> グループや全体での交流を通して、新たに気付いたことをワークシートに書き加えることで、ものの見方の広がりを感じさせる。 |
| <p>4 本時の学習の振り返りをする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 学習を通して、気付いたことやできるようになったことを学習計画表に記入させる。 本時の学習の良かったところを賞賛すると共に、次時の活動内容を確認して学習の見通しをもたせる。 |